

## 隠岐の島町生涯学習推進計画の検証結果報告書について

隠岐の島町生涯学習推進本部事務局  
(教育委員会 社会教育課)

生涯学習の推進について「第1次隠岐の島町生涯学習推進計画」(実施期間平成22年4月1日～令和2年3月31日)を策定し、10年間にわたり町民が自由に学習機会を選択し、学ぶことができる環境整備に取り組んできました。

しかし、近年社会情勢が変化し、活気ある地域づくりのため、社会教育の重要性が高くなってきました。平成28年8月19日開催の隠岐の島町社会教育委員の会臨時会においても「時代背景的には、生涯学習計画の見直しを行うより、むしろ社会教育推進計画を策定すべき時期ではないかと考える。」との指摘がありました。

今後は、今回の「隠岐の島町生涯学習推進計画の検証結果報告」の反省点を踏まえ、「第2次隠岐の島町総合振興計画」及び「第2次隠岐の島町教育大綱」との整合性に配慮した「隠岐の島町社会教育計画」(仮)を策定し、社会教育を通して、主体的に地域課題の解決に向かう「人づくり」や「仲間づくり」、地域の資源や人材を活かした「ふるさと教育」等を推進していく必要があります。

### 今回のスケジュール

日 程	内 容	備 考
R2年5月中	取り組み状況等(H29～R1)の調査	社会教育課→各課
R2年6月	取組結果の整理・検証	社会教育課
R2年7月	教育委員会の会議に報告	
R2年8月	生涯学習推進本部の開催 (検証結果について最終確認)	

隠岐の島町生涯学習推進計画の検証結果報告書

	主な施策	具体的施策	これまでの取り組み状況	評価と課題	今後の施策
(1) 学びの推進体制づくり	①生涯学習推進体制の整備	ア. 総合的な推進組織の整備	<input type="checkbox"/> 生涯学習推進本部の設置	・組織はあっても十分に機能せず、平成22年4月の計画策定後、平成29年7月、10月に検証の為に開催して以降推進本部会議、推進会議等が一度も開催されなかった。	・教育委員会は、所管する計画について事務局としての役割を十分に認識し、町全体の連携ネットワーク化をコーディネートする。(社会教育課)
		イ. 生涯学習推進行政の役割の明確化	<input type="checkbox"/> 生涯学習推進本部の設置	・町長部局・教育委員会部局ともに行政課題としての認識が充分でなかった。	・生涯学習の推進については本計画を策定し、10年間にわたり、町民が自由に学習機会を選択し、学ぶことができる環境整備に取り組んできた。令和元年度で計画期間が満了することから、評価結果を基に、令和2年度以降の方針について検討する。(社会教育課)
	②連携ネットワークの充実	ア. 生涯学習関係機関、団体との連携	<input type="checkbox"/> それぞれに連携して取り組んでいる事例もあるが、全体の連携の仕組みが出来ていない。  ●生涯学習関係機関、団体とは 首長部局、教育委員会、社会教育施設、公民館・分館、文化振興財団、社会教育関係団体(PTA、子ども会、連合婦人会、老人会連合会など)、ボランティア団体や分野ごとにある各種協議会等、一般の文化団体・サークル等	・連携の方策を明確にしてこなかった。 ・生涯学習関連機関、団体個別に連携して取り組んでいるものはあるが、充分とは言えない。 ・行政による支援の有無に関わらず、様々な地域づくりの取り組みが行われているが、それらを広げていくためのネットワーク化や情報共有が不足している。	・町民は生涯学習を現に実践しているが、人や事業、施設利用、行事等が重複・交錯するなどしているため、例えば、フォーラム(社会教育フォーラム)、集会等、町民や関係団体が意見交換、学習等を行う機会を設ける。(社会教育課)
		イ. 施設間ネットワーク事業の展開	・体育施設の利活用ネットワークについては、調整を行っている。	・ネットワーク事業や会議等は開催していない。	施設間の情報共有、連携が図られる仕組みを検討する。(公民館・教育文化振興財団等)
(2) 学びの支援体制づくり	①学習環境の整備と充実	ア. 教育環境の整備	<input type="checkbox"/> 総合教育会議の設置(町長、教育委員会) <input type="checkbox"/> 教育大綱の策定(町長、教育委員会)	・町長部局と教育委員会で構成する「総合教育会議」を設置したことにより、教育行政に関する町民の意向をより反映させやすくした。 ・子ども読書活動推進計画の策定:平成24年3月に第1次計画を策定したが、計画の周知が不十分であった。子どもの読書に関わるあらゆる事業者と連携して取り組むとした第2次計画を令和元年5月に策定した。	・町長部局と教育委員会が、より密に協議、調整を行うことにより、両者が教育政策の方向性を共有して政策にあたる。(各課)
		イ. 地域の教育資源の活用	<input type="checkbox"/> ふるさと教育事業(社会教育課、総務学校教育課) <input type="checkbox"/> 郷土の食材活用実践(高校、隠岐支庁、農林水産課) <input type="checkbox"/> ジオ学習会(ジオ推進協、公民館) <input type="checkbox"/> 文化財講座、見学会(社会教育課)	・青少年対象のふるさと教育事業等により、地域の教育資源を有効に活用している。 ・青少年対象の学習プログラムは、ジオ学習をはじめ確立されつつあるが、一般向けのプログラムが乏しい状況である。 ・文化財講座については、民間グループ、教育文化振興財団等と連携し実施している。	・町の文化財等を活用した学習プログラムを充実させる。(社会教育課、公民館、総務学校教育課) ・ジオ学習を普及させるために、ジオパーク推進協議会と連携して、住民啓発を行う。(社会教育課、公民館) ・地域の教育資源の再発掘を行う。(各課)

隠岐の島町生涯学習推進計画の検証結果報告書

	主な施策	具体的施策	これまでの取り組み状況	評価と課題	今後の施策
(2) 学びの支援体制づくり		ウ. 生涯学習関連施設の整備	<input type="checkbox"/> 社会教育施設の整備 隠岐島文化会館大規模改修 屋内温水プール大規模改修 隠岐の島町図書館大規模改修 隠岐ユネスコ世界ジオパーク中核拠点施設整備 他	・社会教育の拠点となる施設については、その機能が十分に活かせるよう改修等を行ってきた。 ・中心市街地以外における学習環境が整備されず、高齢者等にとっては不便である。 (分館は各地域にあるが、学びの拠点としての維持が困難になっている。) ・隠岐の島町図書館振興計画の策定:開館20周年を迎えた図書館をより町民の暮らしに生きる図書館にするために長期的な目標と施策を設定した。(平成30年12月)	・社会教育の拠点となる施設について住民への周知とそれらの施設の活用を図るための施策を展開する。 【例】旧小学校施設、ものづくり学校、集会所等 ※教育委員会と公民館、本庁、各支所出張所等が連携して行う。
		エ. 文化遺産の保存活用と伝統文化、芸術活動の保存育成	<input type="checkbox"/> 文化財保存・活用事業(社会教育課) <input type="checkbox"/> 文化芸術振興事業(社会教育課、教育文化振興財団)	・文化財の所有者及び保持者に対する支援を随時行っている。 ・文化財の調査成果を教育や学術研究等に活かせるよう、報告書やパンフレット等を作成し、周知している。 ・文化・芸術活動の支援について、小中学生に対する支援等を行っているほか、歴史文化事業を実施する団体に対する支援を行っている。	・文化財保護、活用をより充実させるための中期的・長期的な行政計画を策定する。(社会教育課) ・文化芸術活動の振興については、社会教育課と教育文化振興財団が連携して、鑑賞事業等を通し、推進していく。(社会教育課、教育文化振興財団)
	②学習活動の啓発の推進	ア. 学習の啓発、啓蒙活動の推進	<input type="checkbox"/> 町広報誌、ホームページにおける啓発(総務課、各担当課) <input type="checkbox"/> 社会教育施設が発行する広報誌による学習啓発(公民館、図書館等) <input type="checkbox"/> 講演会の開催、文化祭等の行事における啓発(教育委員会、公民館、各担当課)	・町広報誌、ホームページ等の情報発信媒体を十分に活用出来ていない。 ・町民の生涯学習実践はあるが、意識化、学習成果の活用までにはなっていない。	・町広報誌「まなびのひろば」の充実、特集記事の企画(教育委員会) ・町ホームページに生涯学習・生涯スポーツの活動団体の紹介、相談、指導者派遣などのコーナーの設置を検討する。各集会所へポスターや情報紙を掲示する。(社会教育課)
③学習情報の提供	ア. 学習相談窓口の開設	<input type="checkbox"/> 学習窓口の開設(教育委員会、公民館、図書館 他)	・学習相談窓口の住民への周知が充分でなかった。 ・町民の方の問い合わせに対し、取り組みたい学習や要望にできるだけこたえられるように対応している。	・町広報誌、町ホームページ等により、学習相談窓口の周知を行う。(教育委員会、公民館)	
	イ. 学習機会に関する情報提供	<input type="checkbox"/> 町広報誌、ホームページによる情報提供(総務課、各担当課) <input type="checkbox"/> 社会教育施設が発行する広報誌による情報提供(公民館、図書館等)	・学習機会に関する情報提供は、随時、広報誌やホームページ等で行っているが、データベース化は未着手の状況である。 ・公民館では毎月広報誌を発刊しており、各公民館で持ち回りで担当し、内容を協議している。		

隠岐の島町生涯学習推進計画の検証結果報告書

	主な施策	具体的施策	これまでの取り組み状況	評価と課題	今後の施策
(2) 学びの支援体制づくり		ウ. 指導者・ボランティアなどの情報提供	<input type="checkbox"/> ボランティア情報提供、組織的取り組みの実施(社会福祉協議会) <input type="checkbox"/> 高齢者学級の講師依頼等に情報提供している。(公民館)	・「おきのしまボランティア情報」を作成し、社協広報誌やホームページに掲載すると共に自治会・区や関係機関等に掲示を依頼して情報を発信した。実際のボランティア活動の状況が把握できていない。	・指導者、ボランティア情報等の提供はひきつづき社会福祉協議会や各団体と連携した取り組みをすすめる。(社会教育課・公民館・社会福祉協議会)
		エ. 各種資格情報の提供	<input type="checkbox"/> ビジネス支援コーナーの設置(図書館)	・各部署それぞれに情報提供をしているが、取りまとめて周知する仕組みがない。	・各種資格情報を集めて町広報誌や町ホームページ等で公開する。(総務課)
		オ. 学習プログラム情報の提供	<input type="checkbox"/> ジオ学習プログラム開発と提供、情報提供、意識調査(ジオ協) <input type="checkbox"/> 親学プログラムの活用(社会教育課)	・学習プログラム等の情報提供について、充分とは言えない。	・公民館等で実施している学習プログラムの情報発信を行う。(公民館・図書館) ・ジオ学習プログラムの情報提供を行う。(ジオ協・社会教育課)
		カ. 施設に関する情報の提供	<input type="checkbox"/> 各施設が発行する広報誌等による情報提供	・施設の情報等については、町民にある程度提供できている。	・町民への周知の方法を各機関、施設等で改善する。(社会教育課・公民館)
		キ. 生活情報の提供	<input type="checkbox"/> 町広報誌等による情報提供	・生活情報については、町広報誌、防災無線、町ホームページにより情報提供出来ている。	・引き続き、町広報誌、防災無線、町ホームページ等で情報提供していく。(各課)
(3) 学びの機会づくり	①学習機会の場の提供	ア. 乳幼児期ー基礎的な生活習慣を身につけ、人間関係の基本的なルールを習得する学習	<input type="checkbox"/> ブックスタート事業(図書館他) <input type="checkbox"/> おはなしの部屋(図書館) <input type="checkbox"/> 子育て支援・交流を通じた学習(子育て支援センター) <input type="checkbox"/> 親学プログラム(社会教育課)	・ブックスタート事業については、保健課、福祉課、教育委員会、図書館が連携し、役割分担しながら取り組むことによりスムーズな運営が図れている。 ・主に保護者対象に「子育て」、「ふるまい向上」などの各種講座を行っているが、ボランティア等の人材が不足している。 ・子育て支援センター(2箇所)において、親子の交流の場を提供している。また、子育て相談を受け付けると共に、郵送による子育て情報の提供(毎月)を行っている。	・ボランティア、親学ファシリテーター等の育成を強化していく。(社会教育課・公民館) ・保護者対象の各種講座について内容を充実させる。(公民館)

隠岐の島町生涯学習推進計画の検証結果報告書

	主な施策	具体的施策	これまでの取り組み状況	評価と課題	今後の施策
（3） 学びの 機会づくり		イ. 少年期－豊かな情操を養い、個性を伸ばす学習	<input type="checkbox"/> ジオ環境デー(環境課) <input type="checkbox"/> 中学生議会(議会、総務課、教育委員会) <input type="checkbox"/> 子ども会育成(公民館) <input type="checkbox"/> アドベンチャー教室(まちづくり運動協議会) <input type="checkbox"/> くぬぎの森事業(公民館)	・学校教育、社会教育それぞれに、ある程度の連携が図れている。 ・子ども会の組織の弱体化がみられることから、組織のあり方を検討している。 ・アドベンチャー教室はまちづくり運動協議会人づくり部会で内容を精査しているが、開催される夏休み期間において、近年気温が高い状況が続いており、子どもの体力を考えながら内容を検討しなければならなくなっている。 ・クヌギの森事業の見直しをしており、大人よりも子どもが自分たちで主体的にできる事業を公民館で検討している。	・青少年の体験活動、リーダー研修等を充実させる。(社会教育課、公民館) ・地域の行事等へ参加、体験する機会を充実させる。(公民館)
		ウ. 青年期－社会人となるための学習	<input type="checkbox"/> 高校魅力化事業(総務学校教育課) <input type="checkbox"/> 町教育魅力化推進協議会を組織し、小・中学校・高校の連携を強化し、学校の魅力化を図ると共に地域の教育力向上を図る	・青年期を対象とした学習機会の提供が充分でない。	・青年が集い、体験・交流する場を設ける。(教育委員会、公民館) ・伝統文化や仕事を継承する青年を支援する。(社会教育課) ・地域の行事等へ参加、体験する機会を充実させる。(公民館)
		エ. 成人期－職業生活および家庭生活への適応を図る学習	<input type="checkbox"/> スリーステージ研修[新入・若手](商工観光課) <input type="checkbox"/> 次世代リーダー研修(島根県、商工観光課) <input type="checkbox"/> 30歳の同窓会(公民館) <input type="checkbox"/> 各種学習講座(公民館)	・地域課題についての学習の機会を提供していなかった。 ・人手不足という背景から町内の民間事業主の意識も向上してきており、一体感を持った取組みが定着してきている。 ・30歳の同窓会については例年該当する役場職員のメンバーが中心に取り組んでいる。 ・各種学習活動については、毎年実施しているが、講座の参加者が固定化しているところもあり、より多くの参加者を募る工夫が必要である。	・生涯にわたって学び続けることが出来るよう、学びの機会を設ける。(公民館、社会教育課) ・地域課題について考える場を設け、地域リーダーを育成する。(公民館、社会教育課) ・地域の行事等へ参加、体験する機会を充実させる。(公民館、社会教育課)
		オ. 壮年期－社会的役割の増大に対応する学習	<input type="checkbox"/> 各種学習講座(公民館)	・地域課題についての学習の機会を提供していなかった。	・地域課題について考える場を設け、地域リーダーを育成する。(公民館、社会教育課)
		カ. 高齢期－若い世代との交流や知識・技能・経験の継承を図る学習	<input type="checkbox"/> 高齢者教室(公民館) <input type="checkbox"/> 各種学習講座(公民館)	・高齢者学級は、高齢者が楽しい雰囲気の中で連帯意識を育み、自己の生きがいを求める学習を行っており、布施地区以外、参加者主体の高齢者学級を開催、講座も自ら企画し、生涯学習を展開している。	・高齢者の学習意欲を高め社会参加の機会を促す教室、講座等の開催に努める。(公民館)
		キ. 生命財産に関する学習	<input type="checkbox"/> 防災学習(総務課、各支所、自治会等)	・各自治会では、地域活性化交付金等により、防災用品が揃ってきており、今後は避難所設営の訓練が必要である。また、学習機会を設けている自治会等があるが、地域、組織により温度差がある。	・地域、組織への学習の働きかけを行っていく。(総務課・地域振興課)

隠岐の島町生涯学習推進計画の検証結果報告書

	主な施策	具体的施策	これまでの取り組み状況	評価と課題	今後の施策
<p>(3) 学びの機会づくり</p>		<p>ク. 健康に関する学習</p>	<p><input type="checkbox"/>各地区介護予防教室、認知症予防講演会、認知症介護者交流会(福祉課) <input type="checkbox"/>各種健康教室等(保健課)</p>	<p>・健康教室は地区や団体と連携して実施している。日中開催が多く、地区の高齢者や限られた者の参加となり地区全体の取組となりにくい。 ・認知症に対する理解を深める場の提供については、各地区を回っての認知症カフェの開催や講演会と併せて認知症ドキュメンタリー映画の上映を行い、多数の参加を実現できた。</p>	<p>・みんなが自分の健康に関心を持ち、地域全体で健康づくりに取り組んでいくことが重要。(保健課、福祉課)</p>
		<p>ケ. 人権・同和問題に関する学習</p>	<p><input type="checkbox"/>人権学習・研修会、啓発活動(地域振興課) <input type="checkbox"/>ネットワーク事業、推進会議の講演会(社会教育課、関係機関) <input type="checkbox"/>権利擁護に関する研修会(福祉課) <input type="checkbox"/>あったかスクラム サポーター養成講座(社会教育課)</p>	<p>・人権・同和問題の所管は、地域振興課(人権擁護、同和行政)、社会教育課(人権・同和教育)と目的により分かれているが、相互の連携が十分に図られていない。 ・年1回の人権教育研修会を実施しているものの、近年、人権課題が多様化しているため、それに対応できる人材育成や学習会の提供を推進していくことが必要である。 ・高齢者虐待防止の為の講演会を定期的を開催しているが、周知しても住民の参加が少ない。</p>	<p>・関係課で連絡調整の場を設け、情報共有しながら進めていく。(社会教育課、地域振興課)</p>
		<p>コ. 消費者問題に関する学習</p>	<p><input type="checkbox"/>消費者問題学習(地域振興課)</p>	<p>・消費者問題については、隠岐の島町消費者問題研究協議会与連携し、地区や団体での学習会を実施した。また、各種イベント実施時に啓発活動を行い、必要に応じ広報等による啓発を行った。</p>	<p>消費者を取り巻く環境は、大きく変化しており、状況を的確に把握し、被害にあわないよう、積極的な啓発活動に努める。(地域振興課)</p>
		<p>サ. 地域連帯、地域の教育力の学習</p>	<p><input type="checkbox"/>地域力育成事業(公民館) <input type="checkbox"/>児童生徒地域見守り事業 <input type="checkbox"/>冬季体力づくり教室(公民館)</p>	<p>・公民館において、地域課題解決に向けた事業を新たに設けたが、現在は、方向性を探る状況である。 ・地域ボランティアの協力により通学時及び遊んでいる児童生徒を見守ることが出来ている。 ・五箇地区で行われている寒稽古は、多くの子どもたちの参加を得ており毎年、五箇公民館、スポーツ推進委員、地域指導者及びボランティアの方が連携して50年以上続けて開催している。健康増進と子どもの食育推進に寄与している。</p>	<p>・より多くの地域ボランティアの育成を図る。(公民館・社会教育課) ・寒稽古が安全に行えるよう、地域、学校、関係団体の更なる連携を図っていく。(公民館)</p>

隠岐の島町生涯学習推進計画の検証結果報告書

生涯学習推進本部

	主な施策	具体的施策	これまでの取り組み状況	評価と課題	今後の施策
（3） 学びの 機会づくり		シ. 地域づくり、まちづくりの学習	<input type="checkbox"/> まちづくり運動協議会の活動 <input type="checkbox"/> 地域力育成事業(公民館)	・まちづくり運動協議会による事業や、地域ごとに様々な取り組みが実施されているが、情報共有がなされていない。	・現在の学習活動を基礎としながらも、地域の活性化につながる学習を促進する。(公民館) ※教委・公民館の事業を中心に、各支所、各課・各機関等も積極的に地域活性化のための学習機会の提供を図る。(各課、各機関)
		ス. 家庭教育、学校教育、企業教育、社会教育	<input type="checkbox"/> 乳幼児期の食育(保健課) <input type="checkbox"/> 親学講座(社会教育課) <input type="checkbox"/> 子育て支援センターでの学習機会提供(福祉課)	・乳幼児健診等を活用し、時期に応じた食事量やバランスについて啓発を行っている。 ・子育て支援センター主催(共催)による子育て学習の場を不定期で実施した。また、子育てサークルに活動の場を提供した。	・保護者の学習については、PTA、企業等との連携を密にして「親学、ネット関連学習」を充実させる。(社会教育課)
		セ. 科学技術の高度化、情報化に対応する学習	<input type="checkbox"/> パソコン教室、スマホ教室(公民館)	・高齢者のパソコン・スマホ学習意欲は高く、継続的な開催が必要である。 ・個人のレベルによって内容も変わってくるため、参加者の要望にこたえられているか疑問である。	・目的を明確にし計画的に実施する。 ・全館開催する方向で、内容を充実させ、簡易な相談であれば、公民館職員が随時指導する等サービス向上に努める。(公民館)
		ソ. 男女共同参画社会を実現する学習	<input type="checkbox"/> 男女共同参画社会実現のための学習(地域振興課)	・男女共同参画の学習会を提供できていない。	・県、関係機関と連携しながら、啓発活動等を中心に取り組む。(地域振興課)
		タ. 国際理解の学習	<input type="checkbox"/> 国際交流事業、中学生の英語キャンプ(ジオ協議会) <input type="checkbox"/> 豪州交流(教育委員会)	・国際交流員(ジオパーク推進協議会所属)やALTの雇用により、外国語や外国文化に関する学習機会が増加した。しかし、CIR、ALT共に本業の余暇で対応しているため、本格的な事業展開には至っていない。 ・友好都市提携を結ぶポーランドについて学ぶ機会の提供を国際交流員により実施している。	・国際交流員を有効に活用し、学習機会の場を更に充実させる。(文化交流、国際理解)

隠岐の島町生涯学習推進計画の検証結果報告書

	主な施策	具体的施策	これまでの取り組み状況	評価と課題	今後の施策	
③ 学びの 機会づくり		チ. 環境、資源、エネルギーに関する学習	<input type="checkbox"/> エコフェスタ(まちづくり協) <input type="checkbox"/> 町一斉ボランティアゴミ拾いデー、ジオ環境デー(環境課)・ジオの日町内クリーン作戦(55地区で2,070kgのごみを回収) ・ビーチクリーンフェス(約120人参加)	・エコフェスタの開催は、周知が不十分である。 ・ジオ環境デーは、徐々に浸透しつつある。 ・ビーチクリーンフェスについては、津戸塩の浜での開催であったが、他の海岸での開催も考慮するべきである。	・多くの町民が関心を持つよう内容を充実させ、広報、ホームページ等を活用し、周知徹底を図る。(環境課)	
		ツ. 生涯スポーツの学習	<input type="checkbox"/> 社会体育振興事業(社会教育課)	・各種団体、サークル等で活発な活動がされている。	・各種スポーツ団体が、より主体性を持って活動出来るよう、団体育成のための支援を行う。 (運営、技術向上、リーダー育成等)	
		テ. 伝統芸術文化に関する学習	<input type="checkbox"/> 隠岐乃国伝統芸能祭(教育文化振興財団) <input type="checkbox"/> 各種芸術公演鑑賞事業(教育委員会、教育文化振興財団)	・離島という地理的条件もあり、芸術鑑賞の機会が少ない状況であるため、町及び教育文化振興財団が実施、又は支援していく必要がある。	・芸術鑑賞機会の提供は、各種助成事業等を活用しながら、計画的に進めていく。(社会教育課、教育文化振興財団)	
		ト. 関連団体との連携による学習機会の提供				
		②人材の発掘・育成・活用	ア. 人材活用のシステム化の整備	<input type="checkbox"/> ジョブフェア[合同企業説明会](商工観光課) <input type="checkbox"/> ジオ検定、ガイド養成講座(ジオ協議会)	・全体的に人材育成の機会の提供が充分ではない。 ・特に、社会教育行政が担うべき人材育成の施策が不足している。	・各施策を進める上での支援ボランティア(コーディネーター)を養成する。(各課) ・リーダー育成を重点的に実施する。(各課) ・経験豊かな社会教育主事等によるコーディネートを行う。(社会教育課)
		イ. 直接援助する指導者の育成	<input type="checkbox"/> 教員研修会、夏季授業セミナー(総務学校教育課) <input type="checkbox"/> 高齢者サポーター養成講座、認知症サポーター養成講座(福祉課)	・あらゆる分野で若手指導者(後継者)が育っていない。 ・時代が求めるニーズに即した指導力向上のための教員研修に積極的に参加した。 ・地域の高齢者サロンの担い手が不足している。 ・認知症サポーター養成後の具体的な活動内容が不明確である。	・後継者育成のための方策を検討する。(各課)	



隠岐の島町生涯学習推進計画の検証結果報告書

	主な施策	具体的施策	これまでの取り組み状況	評価と課題	今後の施策
(3) 学びの機会づくり		ウ. 地域支援ボランティアの育成	<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会(ボランティア育成・活用事業) <input type="checkbox"/> 総務学校教育課(特別支援サポーター養成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な分野において、ボランティアが不足している。</li> <li>福祉講演会やフォーラム等を開催して地域活動推進を図ると共にサロン活動等の地域支え合い活動の立ち上げや運営支援を行った。</li> <li>災害時支援者養成研修等を行い災害時のボランティア活動の推進や受け入れ体制の整備を進めているが、地域住民への更なる働きかけが必要である。</li> <li>シルバー人材センターを立ち上げたが、会員登録者の入会者を増やすことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域支援ボランティア(団体を含む)の育成のため、まずは、キーとなるボランティアリーダーを育成する。(各課)</li> <li>シルバー人材センターの会員を増やし運営を充実させる。(社協)</li> </ul>
	③地域教育力の向上	ア. 家庭、学校、地域の連携活動の推進	<input type="checkbox"/> 結集！わいらのしまの子育て協働事業(社会教育課、公民館) <input type="checkbox"/> 家庭教育講演会、見守り事業(公民館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「放課後子ども教室」について、地域の実情により、開催回数が異なるなどの不均衡が生じている。</li> <li>放課後子ども教室は教育委員会、学校、公民館と連携がとれているが、有料の児童クラブとの連携について検討が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後の児童の居場所づくりの在り方について、町児童福祉担当者や学校現場の各関係者による「わいらの子育て協働プロジェクト運営委員会」で協議を進める。(社会教育課、福祉課)</li> <li>今後は、「支援」から「協働」に移行させる施策を考える。(社会教育課)</li> </ul>
		イ. ふるさと教育の推進	<input type="checkbox"/> ふるさと教育、ふるさと体験活動(教育委員会、公民館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業が始まってから14年が経過し、定着している。</li> <li>教育の成果として、郷土愛の高まりから、ふるさとでの定住を希望する若者も増える傾向にある。</li> <li>ふるさと体験活動として、都万:ふるさとキャンプ、布施:北小サマー合宿、西郷小:徒歩旅行等、実行委員会を組織し、公民館を中心に学校や地域と連携し取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと教育単独のみならず、「教育の魅力化」に関連づけた取り組みとしていく。(教育委員会)</li> </ul>
		ウ. 生きる力の育成、支援	<input type="checkbox"/> 学校教育への支援事業(社会教育課、公民館等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生きる力の育成は、まさに学校教育の目標であり、社会教育課や公民館等はふるさと教育、学校との連携など、側面から支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、現在の取り組みを継続していく。(社会教育課、公民館)</li> </ul>
		エ. 学校活動への支援	<input type="checkbox"/> 学校支援本部事業ほか(社会教育課、公民館) <input type="checkbox"/> 学校への活動支援(ジオ協)	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業として継続してきたが、住民参加が充分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援本部事業における活動支援の輪を住民に広げていく。(社会教育課、公民館)</li> </ul>

隠岐の島町生涯学習推進計画の検証結果報告書

	主な施策	具体的施策	これまでの取り組み状況	評価と課題	今後の施策
(3) 学びの機会づくり		オ. 地域力の醸成	<input type="checkbox"/> 分館活動支援、地域課題解決型研修(公民館) <input type="checkbox"/> 自治会や各団体による地域づくりのための活動(各自治会等) <input type="checkbox"/> 環境保護活動、分館ジオ学習、環境講座、美化活動(公民館、ジオ協) <input type="checkbox"/> 生活環境部会、ひとづくり部会の各活動(まちづくり運動協議会)	・行政による支援の有無に関わらず、様々な地域づくりの取り組みが行われているが、それらを広げていくためのネットワーク化や情報共有が不足している。 ・ひとづくり部会では、若者イベントの企画、中心市街地活性化を目的としたイベントの協力を行っている。生活環境部会は地域美化活動、エコフェスタの開催、環境問題の啓発活動など幅広く活動している。	・地域力の醸成を重要なテーマとして位置付け、今後策定する計画等で検討していく。(社会教育課)
		カ. 生活体験、奉仕体験、職場体験、社会参加活動への支援	<input type="checkbox"/> 中学生の職場体験(町、教育委員会)	・中学生の職場体験については、民間、行政等が連携しながら実施している。	・引き続き、地域、企業、組織、団体が連携して取り組んでいく。(各課)
■ 運営、評価について	①運営	設置目的や実施目的の明確化	<input type="checkbox"/> 施策・事業の企画、実施	・設置目的・実施目的は明確化されているが、企画・実施についての管理がなされていなかった。 ・推進本部をはじめとする推進体制の機能を活用出来ていなかった。	
	②評価プロセス	施策・事業の評価及び公表	<input type="checkbox"/> 推進本部として施策・評価の実施はなし。	・評価方法の検討が行われなかった。 ・評価データの収集を行っていない。 ・問題点や課題の抽出と分析を行っていない。 ・改善策の検討、実施を行っていない。	※令和元年度で計画期間が満了することから、評価結果を基に、令和2年度以降の進め方について検討する。(社会教育課)